

《茨城支部ニュースレター第2号》

平成28年10月16日(日)に「第1回公開講座・第2回資格更新研修会」が行われました。

- 1 場所：茨城県南生涯学習センター
- 2 研修：「読み書き障害のある子どもの支援方法の最新動向」  
講師 宇野 彰 先生（筑波大学 人間系教授）

3 参加者 96人（会員40名，一般56名）

4 研修内容

- (1) 学習障害の定義
- (2) 言語のみの発達障害と発達性読み書き障害
- (3) 発達性読み書き障害と脳の構造異常
- (4) 発達性読み書き障害への支援
  - ・板書は音読しながら書く。繰り返し口頭で説明する。
  - ・ルビの活用。
  - ・宿題の量の調整。
  - ・読み上げソフトや電子辞書等の活用。など
- (5) 診断評価方法

お話の中で、

- ・言語の種類によって、発達性読み書き障害児の出現率が違う。
  - ・ひらがなの音読は、年長時93%の幼児が読めている。
  - ・環境要因は低い。
  - ・発達性読み書き障害だけに観察される書字特徴は？「ない」
- など、調査、研究から分かったことや
- ・ひらがなの読み書きは重要！次に、かたかな。漢字は音読から。
  - ・筆順にはこだわらない。いつも同じように書く。など
- 指導における優先事項は、興味深いものばかりでした。

また、

「方向音痴は治らない」「苦手な能力は克服するのではなく、カバーする」  
など、経験に基づいたお話や実際に行っている工夫などのお話も、楽しく聞くことができました。  
本日、研修に参加できなかった方で、教育関係のお仕事に就かれている方は、  
下記のサイトからビデオをご覧ください。  
最初に、20問のプレテストがありますが、是非挑戦してください。

<<http://dys-sch-2015.f5.si/>> <http://dys-sch-2015.f5.si/>

ユーザー名： dyslexia  
パスワード： dFaPV7rt

\*\*\*\*\*

次回、第3回資格更新研修会（第2回公開講座）は、2月に、実施する予定です。  
ぜひお越しください。

文責 菊間 みゆき

\*\*\*\*\*